

【18】旭川市では、今後、旭川市地域福祉計画の改訂を進めていきますが、地域福祉の推進に関してのお考えを自由にご記入ください。

※原文をそのまま記載しています。

最近は以前にまして、対人の機会や必要性が薄くなってきていると感じます。インターネットの普及で情報の取得が容易になり、隣近所へ聞いたりしなくても事が足りてしまうからです。今後は更にこの傾向が強まりますので、地域の連携・助け合いがどのような機会でもどの程度必要になるのか、時代の傾向と照らし合わせながら議論していく事が重要だと思います。（30代男性）

地域福祉の必要性をあまり感じません。

援助が必要な際には当事者が自ら申請すれば良いと思います、そのための申請受付機関の周知を図れば良いのでは。（30代男性）

地域住民同士が「支え手」や「受け手」となって共に支え合うことは重要だと思います。しかし、地域で活動する団体の担い手が、行政の下請けと化し、ボランティアとしての内発性の芽を摘まれてしまうようでは、継続可能な仕組みにはならないと思います。自らが地域の担い手にもなれるという実感を持ってもらえるように、様々な住民が関係を固定化させずに交流できる機会や活動を周知・拡散していただければと思います。（30代男性）

過疎化と過疎地とこれからはまだまだご年配者と障害者が増えると思いますが昔みたいな活気のある買い物公園にしたり、もっとご年配者とか障害者の方が旭川市に住んでいて良かったと言う様な街作りになれば良いかと思います。（40代男性）

無償ボランティアは受け手が「申し訳なから頼みにくい」という気持ちを生じさせるのに対し、有償なら多少頼みやすくなる。しかし、有償になれば「お金払ってるのに、望み通りにならなかった」と、支え手に対する不満が生じる原因になりかねない。旧知の人が手をさしのべる、というのが最も理想的なのでしょうけど...（40代男性）

町内会での活動が重要と考えます。行政には町内会加入がメリット（一部免税、ゴミステーションの町内会加入者のみ使用等）となるような施策・法整備等を検討頂きたいと思います。（40代男性）

今後とも炊事遠足、登山、りんご狩り、体験学習等の各作業所は、全員が参加したい。今後とも継続する事になった。（40代男性）

バスも頻繁に通っていないような地域もあるので、地域ごとの包括センターの存在を広報等で広めてほしい。（40代男性）

これまで、私の周りには福祉関係者の方々からは、残念ながら心開けるような方はいませんでした。（専門知識の充実のみ必要）（50代男性）

福祉に関係する事は、プライバシーにも入ることとなり難しく、年齢がある程度高齢になると、はっきりしなかったり考えに変化や決定の判断にも変化が出てきたりする・・・
私自身も がん手術を昨年受けて 再発などを考えるとそんなに参加はできなく、最近空き地に住宅も建ち町内の人口は増加した様子だが、町内会への加入は少ない 今後は行政やNPOなどに期待をする（50代男性）

基本的には自己自立が原則であるがもしもの時に備えた公的な扶助が必要になる時があるので旭川市と市民が同じテーブルで協力できる場が必要になると思う。（50代男性）

各種支援が必要な単身世帯・経済的援助が必要なひとり親世帯・要介護高齢者の世帯など、行政任せにするだけでは支えることが出来ない、本当に支援を必要としている人達がおります。人は一人では生きてはいけません。地域で出来ることを、フォーマル及びインフォーマルの分野が協調し合い、柔軟に取り組む必要性を感じます。(50代男性)

空家問題、ゴミステーションの除雪・清掃等管理問題、孤独死問題、町内会未加入等の町内会の諸問題等々が私の所属している町内会(地域)ではあります。これらの問題を解決していくための施策をお願い致します。色々素晴らしい施策を考えていらっしゃる市民の方もおられることと存じますので一つ一つについて市民から意見を募集してはいかがでしょうか。如何でしょうか。きっと最適な意見が出されると思います。(50代男性)

老老介護や8040問題をもう一度認識したい。(50代男性)

事例を示して、相談窓口を明確にすることによって、誰もが行動し易いようにしてほしい。(60代男性)

必ず地域全員に情報が行き渡る事、その情報がわかりやすく一覧にされている内容である事。
・・・その福祉報告が定期的に確実に、わかりやすく報告・連絡される事を期待します。
(月報では作成も大変だしうるさすぎるので旬報とか(笑い))。(60代男性)

働き盛りの若い年代には、町内会活動に参加する機会が少なく、高齢者に対する施策が多く感じる。子育て世代や独身者にも恩恵のある方策を提供して欲しい。(60代男性)

どこの町でも同じに感じますが、各部署がそれぞれの活動をしていて協力関係がうまくいっていないと思います。いつもこのようなことを言うと一堂に集まり話し合いをするようになりますが本当に福祉の連携とはと考えている人がいるのかどのくらいいるのかなと思います。

一つに福祉を語る基礎的な土俵に立って話ができるように勉強会をしたうえでもう少し突っ込んだ中身を作りあげてはと思います。(60代男性)

今後高齢者の人工割合が増えていく中で、若年高齢者(元気な高齢者)の社会参加を促す取組と、地区市民委員会、地区社会福祉協議会、地区民生児童委員協議会、町内会及び行政との連携の中、協働での活動が必要です。(60代男性)

高齢者が増えてきており相互扶助もむずかしくなっているため、専門家による民間のサービスの普及によるサービスの高度化がよいと思う。(60代男性)

現状から少しでも良好な状態になって行く事が重要と思います。(70代男性)

・種々の困った方の問題を市が窓口になり扱い、各種相談先を含めた解決を諮る仕組みをきちんと提示してほしい。その上で地域は何ができるかだと思う。(70代男性)

このアンケートについて。設問【18】のように「最も」と限定されながらも、回答の一つには絞り切れない場合がある。二つめ以上にチェックを入れると一つ目のチェックが消える。【16】もそうだが、複数回答を認める設問や集計が大切ではないだろうか。(70代男性)

何処の地域も同じだと思いますが、我が町内も高齢者が増え続けているいます。一人暮らしの方も増えつつあります。頼りになる子供が近くに住んでいれば良いんですが？お互いに支えあうのは限度があると思います。健康増進のための機会を増やすのは如何でしょうか。例：健康検診、ショートハイキング、・・・等（70代男性）

我が身を考えると、現状、地域福祉を真剣に考えることは少ない。
しかし、近々、その必要性を実感させられるだろう都の認識でいる。（70代男性）

町内会の民生委員の方の家をもっとわかりやすく周知したり、市の相談窓口をもう少しオープンにするといいと思います。（20代女性）

自由に手軽に参加できる環境
周知される事が必要だと思います（30代女性）

子供を持ち共働きで働いている私としては、若い年代と年配の年代とでは活動できる日時の食い違いなども多く、住居も賃貸の場合だと町内会に入る機会などもほぼないので現状は助け合い、支え合いとは程遠い状況なのではないかと感じています。
アンケートの選択肢にあったような、有償のボランティア活動であれば金銭で線引きがされるので色んな年代の方にボランティアをして頂けるチャンスがあるのではないかと思います。（30代女性）

1人世帯が多いなか、困っても他人には言いにくいものだと思います。
大丈夫かなあと思っても、相手がどう思うかと考えるとき手出し出来ないし、家族ではないので立ち入った事は聞けない、、、難しいですね。（30代女性）

安否確認など、声かけなどふれあいがあるとよい（30代女性）

助け合いとかは良いと思います。
けれど、そのうち悪い人（犯罪とか）も出てくるだろうし、また、認知症的な（盗んだんでないか？とか疑われたり）、沢山やると様々な問題も起きるだろうから、信用出来る人（登録制とか资格的な）または、地域の会社組織や個人商店的な所とか、暇そうなところに（地域の企業活性に繋がる）頼んだりするのが望ましいかな？
とも思います。（30代女性）

特に、冬期間の除雪の問題。ご高齢者様にとっては、やはり体の負担が大きいように思えます。
なので、例えば・・・小・中学校の社会貢献の場として、除雪作業チームを作り、ご近所のご高齢者様のお宅へ訪問し、除雪のお手伝いをすることによって、ご高齢者さまとの交流も深まり、子ども達にとっても、将来の福祉事業等に関心をもつきっかけとなるのではないのだろうか？と考えております。（40代女性）

だれもが参加しやすい雰囲気づくりと、特定の団体に依存しない事を根本にして欲しい（40代女性）

ファミリーサポートでお子様を有償で引き受けていますが書類がたくさんありすぎてうんざりしてます
必要経費だけ相手にいただくかたちにしてもらうか
書類の簡略化をして欲しいです（40代女性）

地域福祉の取り組み例を、テレビ番組（教養番組だと敬遠されるので、ドラマなどそう思わせないような入口が良い）や情報誌等、身近に感じ、関心を持てるよう情報発信をし続ける。（40代女性）

どこで相談できるのか 見てわかるようなものが欲しい（50代女性）

若い人がいない 将来的に不安です。魅力ある町になることが一番です（50代女性）

自分のできる範囲で地域福祉活動はしたいのですが、他の家の問題等にどこまで踏み込めば良いのか解りません。
かえって迷惑になることもあり、難しいですね（50代女性）

町内会で回ってくる、高齢者のためのイベントは多いと思いますが、若い人にとっての交流の場がほとんどありません。参加をしても高齢者ばかりで、地域でボランティアに取り組める若い人同士のつながりの場がありません。ボランティアに繋がる人材の人づくりが出来たらと思います。（50代女性）

それぞれの役職において、若い人材を育てていけるような仕組みにしていけないとだめ。役員掛け持ちで、負担が大。各自歩み寄る気持ちがないとうまくいかない。（50代女性）

地域社会は生活の基盤です。それを良くすれば誰もが安心して過ごしやすくなると思います。地域活動に参加したくても機会がなかったり、その方法がわからない人が多数いるのが現状だと思います。町内会に加入していない人も多数います。
まず、地域のつながりが大切という意識付けを皆に持ってもらうことが重要だと思います。（50代女性）

他人には踏み込まれたくない等、デリケートな部分が多いこともあるので、難しいところだと思います。（50代女性）

向う三軒両方隣位は、お互いに、気にしながら、暮らしていきたいと思っています。御近所も、老夫婦世帯が、増えて安否確認も含めて、少しでも若い私達が、出来る事が、ないかと、考えています。（50代女性）

地域での福祉活動は顔が見えて良いと思っている、高齢化、核家族化等本来の身内がかかわるのが諸事情で難しい。色々な事情の方が気軽に相談したり、簡単に手続き可能だったり。地域と言うメリット、デメリットが有るとおもいます。矛盾した内容かもしれないです。（50代女性）

今回のアンケートはモニターの人の現状なのか、将来の事なのか設問の意味が解らない。（60代女性）

はっきりしたイメージが浮かびませんので、意見交換の場が必要ではないかと思います。（60代女性）

隣近所の付き合いやすさや、町内会活動を活性化させるために、親睦に力を入れるべきだと思います。（60代女性）